

# 平成26年度「倉吉市特別支援リーダー育成研修会」概要

倉吉市教育委員会事務局学校教育課

1 目的 発達障がい等配慮を要する児童生徒に対する応用行動分析の知識と技術を学び、問題行動に対して適切な対応ができ、特別支援教育に関する事例検討で指導や助言のできるリーダーを養成することを目的とする。

2 実施日 8月26日(火) 9:00～16:45 (第1回)

3 主催 倉吉市福祉保健部子ども家庭課 倉吉市教育委員会事務局学校教育課

4 対象者 保育士、小中学校教諭

5 講師 井上 雅彦氏

(鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学講座教授)

6 内容

テーマ

「今日求められる『発達支援』と『保護者支援』」

◆講義1 「ユニバーサル教育システムと親支援」

◆講義2 「評価と行動障害への対応～発達の評価について～」

◆講義3 「評価と行動障害への対応～ストラテジーシートと授業改善～」

◆演習 ストラテジーシートの使い方

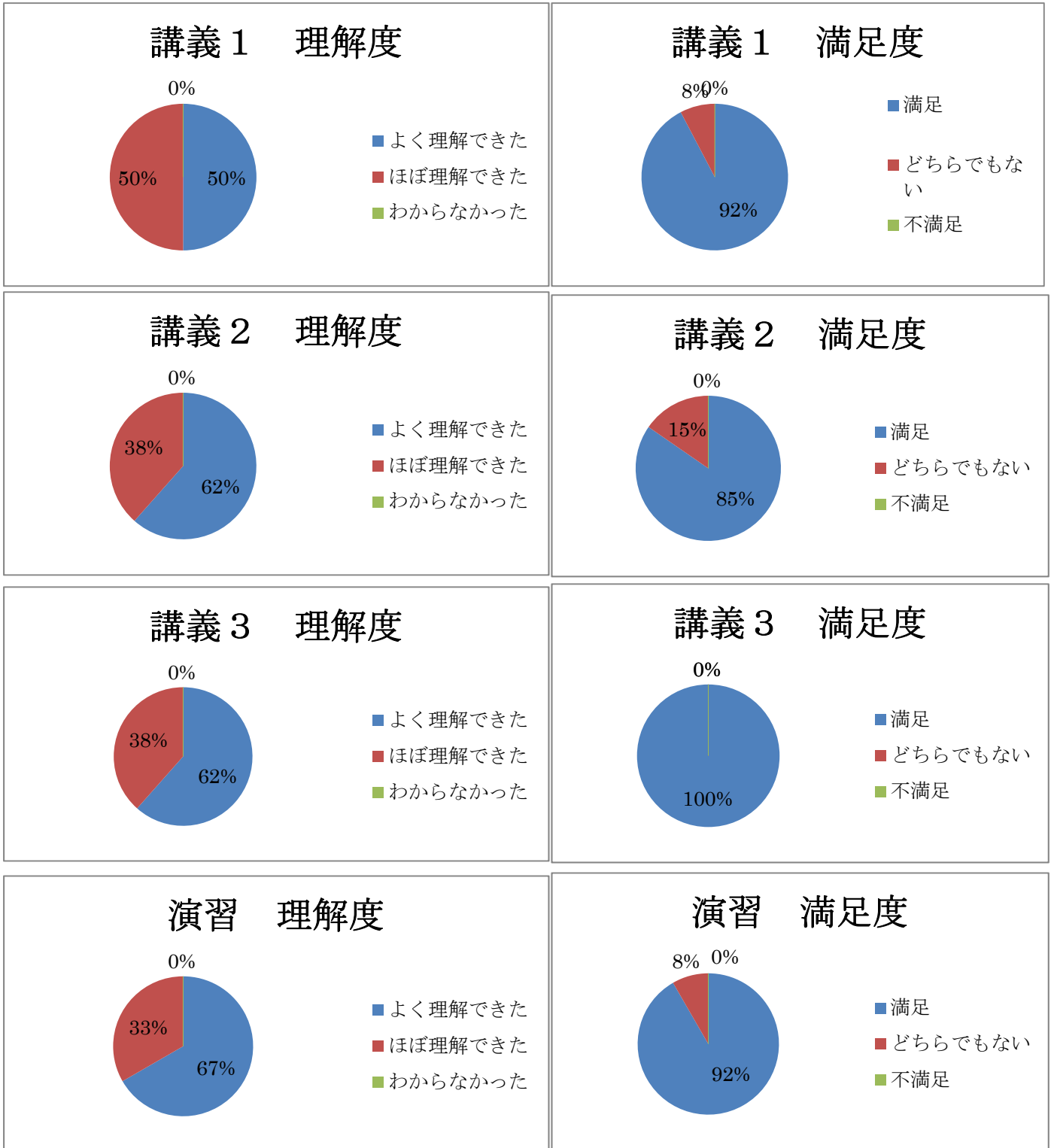
「今日求められる『発達支援』と『保護者支援』」というテーマで研修を行った。

学校や園における校(園)内支援体制の構築が、特別支援教育を行う上での課題となっていることに注目し、具体的などのような考え方で実践すればよいかお話しいただいた。

また、障がいがあってもなくても、全ての児童生徒に対してわかりやすい授業や学級経営が、問題を未然に防ぐことにつながるとして、「ユニバーサル教育システム」の重要性と効果についてご示唆いただいた。



7 研修後のアンケート結果と感想



参加者の感想

- 特別支援に関わる子だけでなく、全ての子のことをよく知り、それぞれの子にあった支援を考えながら学習を組んでいくことが大切だと感じた。
- 学校に適応できない生徒への対応について、教師の視点でしか見ていない、考えていないと気づいた。色々な見方があることを具体例をあげて示されわかりやすかった。
- 校内支援体制の構築の必要性については納得できるが、具体的にどのように進めていけばよいのか。そのスキルアップを図りたい。